

第2次ちば文化振興計画 平成30年度実施報告・令和元年度実施計画

資料4

① 県民の自主的な文化芸術活動の促進

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	
1	千葉・県民芸術祭	県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	県域文化団体行事(28件)及び中央行事の計29行事を実施。 中央行事来場者:1,354名 県域文化団体行事来場者:66,264名	6,050	・期間:6月29日～2月20日 ・32事業を開催(県域文化団体31行事及び中央行事)	4,050	環境生活部 県民生活・文化課
2	県立文化会館自主事業,管理運営事業	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	各館の特色を生かして、公演・県民参加型ミュージカル・音楽ワークショップ・伝統文化体験等を様々な事業を実施した。会館利用者数880,781名利用件数4,970件	596,002	・各館の特色を生かして、公演・県民参加型ミュージカル・音楽ワークショップ・伝統文化体験等の様々な事業を実施	601,380	環境生活部 県民生活・文化課
3	ちば文化交流ボックス	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	・地域のイベント情報 79件 ・ホームページの閲覧件数 73万件	—	・地域のイベント情報 目標件数 90件 ・ホームページの閲覧目標件数 70万件	—	環境生活部 県民生活・文化課
4	千葉県勤労者美術展	勤労者が余暇を利用して創作した美術作品の発表の場を提供することによって勤労者の教養を高め文化の向上を図る。	会期:平成30年8月28日～9月2日 出展数:179点(うち25点を表彰) 来場者数:953人	3,200	作品の募集、表彰(絵画・書・写真)3部門について作品を募集し、表彰を行う。 会期は未定。	3,200	商工労働部 雇用労働課
5	さわやかちば県民プラザ事業	音楽ワークショップ、東葛飾文化祭、ザ・ワールドオブラス、クリスマスコンサート、県民プラザコンサート、高校生バンドフェスティバル、ヤングパワームーブメント、書のパフォーマンス発表会、アゴラマンズリーコンサートなどを実施する。	●音楽ワークショップ ・年間15回のワークショップの開催(参加者のべ1,884名) ・晩秋のコンサート11月25日(日)実施(参観者1,972名) ・新春のコンサート1月20日(日)実施(参観者2,118名) ●東葛飾文化祭(6月2日(土)～17日(日)) 参観者:のべ16,570名、参加団体:東葛飾6市118団体 ●ザ・ワールドオブラス(5月12日(土)) 参観者:24,992名、参加団体:東関東の小・中・高等学校24校 ●クリスマスコンサート(12月15日(土)) 参観者:4,966名、参加団体:県内小・中・高等学校・特別支援学校計21校 ●県民プラザコンサート(3月17日(日)) 参観者:824名、プラザ利用団体計5組参加 ●高校生バンドフェスティバル(12月23日(日)) 参観者:1,037名、参加団体:県内高等学校13団体 ●ヤングパワームーブメント 実行委員会10回(参加者数のべ61名)、実施報告会 12月1日(土)実施(参観者32名) ●書のパフォーマンス発表会9月30日(日)実施(10月2日～14日ギャラリー展示予定) 参観者327名、参加団体:県内高等学校6校 ●アゴラマンズリーコンサート(毎月第3日曜日、計12回開催) 参観者:のべ1,159名	760	●音楽ワークショップ ・年間15回のワークショップ開催 ・晩秋のコンサート11月17日(日) ・新春のコンサート1月19日(日) ●東葛飾文化祭:開催期間6月15日(土)～23日(日) ●ザ・ワールドオブラス:5月11日(土) ●クリスマスコンサート:12月14日(土) ●県民プラザコンサート:事業廃止 ●高校生バンドフェスティバル:12月25日(水) ●ヤングパワームーブメント:年間9回程度 ●書のパフォーマンス発表会: 9月29日(日)(10月1日～6日ギャラリー展示予定) ●アゴラマンズリーコンサート:毎月第3日曜予定(年間12回)	708	教育庁 生涯学習課
6	県立美術館・博物館事業	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	美術館・博物館の入場者数は、中央博物館特別展「恐竜ミュージアムinちば」、関宿城博物館企画展「文明開化の力」等が好評を得たが、中央博物館大多喜城分館の設備工事のため40日間の臨時休館があったため、前年度とほぼ同数の921,914名であった。	989,069	本県の歴史・文化・美術・自然に関する展示及び教育普及事業を実施予定。	1,027,400	教育庁 文化財課
7	県立美術館展覧会事業	千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開、及び県内美術団体の展覧会、移動美術館の開催する。	企画展1、移動美術館1、テーマ展示等13、団体展78件を実施。	16,090	移動美術館1、企画展示等14、団体展75件前後を実施予定。	10,252	教育庁 文化財課

② 様々な場における文化芸術にふれ親しむ機会の提供

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	
8	県立文化会館自主事業,管理運営事業(No.2再掲)	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	各館の特色を生かして、公演・県民参加型ミュージカル・音楽ワークショップ・伝統文化体験等を様々な事業を実施した。会館利用者数880,781名利用件数4,970件	596,002	・各館の特色を生かして、公演・県民参加型ミュージカル・音楽ワークショップ・伝統文化体験等の様々な事業を実施	601,380	環境生活部 県民生活・文化課
9	県立美術館・博物館事業(No.6再掲)	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	美術館・博物館の入場者数は、中央博物館特別展「恐竜ミュージアムinちば」、関宿城博物館企画展「文明開化の力」等が好評を得たが、中央博物館大多喜城分館の設備工事のため40日間の臨時休館があったため、前年度とほぼ同数の921,914名であった。	989,069	本県の歴史・文化・美術・自然に関する展示及び教育普及事業を実施予定。	1,027,400	教育庁 文化財課
10	県立美術館展覧会事業(No.7再掲)	千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開、及び県内美術団体の展覧会、移動美術館の開催する。	企画展1、移動美術館1、テーマ展示等13、団体展78件を実施。	16,090	移動美術館1、企画展示等14、団体展75件前後を実施予定。	10,252	教育庁 文化財課
11	県民芸術劇場	県民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供するため、千葉交響楽団の公演を県内各地で行う。	・県内の文化ホール等 33公演 ・私立学校(幼稚園・小中高) 4公演	17,836	県内各地で32公演実施予定(通年) (管弦楽7公演・室内管弦楽1公演・室内楽16公演、芸術鑑賞教室8公演)	19,125	環境生活部 県民生活・文化課

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
12	千葉交響楽団による活動等	千葉県のプロ・オーケストラである千葉交響楽団に対し、運営費の一部を補助することにより、県民に親しまれるオーケストラとして定着させるとともに、本県の音楽文化の振興に資する。	主催公演 3公演(定期演奏会2回、特別演奏会1回) 依頼演奏会 28公演 アウトリーチ活動 11公演	21,964	主催公演 3公演(定期演奏会2回、特別演奏会1回)予定 依頼演奏会、アウトリーチ活動を予定 県は運営費を補助	22,014	環境生活部 県民生活・文化課
13	ちば文化交流ボックス(No.3再掲)	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	・地域のイベント情報 79件 ・ホームページの閲覧件数 73万件	-	・地域のイベント情報 目標件数 90件 ・ホームページの閲覧目標件数 70万件	-	環境生活部 県民生活・文化課
14	文化事業	古文書講座・県史講座・歴史講演会、出前講座、常設展・企画展を開催する。	・古文書講座 平成30年10月4日～11月2日(3コース 各3日間) 参加者983名(のべ人数) ・企画展「明治150年記念 房総へいらっしやい千葉の観光のあゆみ」 平成30年9月25日～平成31年3月9日 入場者数4,313名 ・常設展「史料から見るふるさと房総の歴史と文化」 平成30年4月2日～平成30年9月8日、平成31年3月25日～平成31年3月30日 入場者数1,948名 ・歴史講演会「森川重俊自筆の手紙を読む」 平成30年6月15日 参加者178名 ・県史講座「近代医療の夜明けー千葉県の西洋医とその周辺ー」 平成30年2月8日・9日 参加者146名 ・出前講座 平成30年5月31日～平成31年3月13日(全40回) 参加者計1,266名	1,776	・古文書講座 令和元年10月 ※予定(3コース 各3日間) ・企画展 令和元年10月1日～令和2年1月18日「(仮称)改元期の千葉県ー近現代のあゆみの中でー」 ・国立公文書館所蔵資料展 令和2年2月5日～令和2年3月10日「(仮称)徳川家康」 ・常設展 平成31年4月1日～令和元年9月8日、令和2年年3月23日～3月30日 ※予定 ・歴史講演会 令和元年6月14日「御本丸御奥方御絵図を読むー千葉県にあった最古の江戸大奥図ー」 ・県史講座 令和2年2月19日、2月21日(2日間) ※予定 ・出前講座 令和元年6月～令和2年2月(全47回程度)※予定	1,807	文書館
15	千葉県上下流交流事業水源地紹介	県内のイベントにて、ハッ場ダムの水源地である群馬県長野原町の紹介及び郷土芸能(上州應桑関所太鼓)の披露をして、千葉県民の水源地に対する理解と交流を深める。	「第42回四街道市産業まつり」に参加し、ハッ場ダム建設事業とダムの水源地である長野県長野原町の紹介及び郷土芸能の披露を行った。	100	実施期間:10月～11月 場所:県内の市町村主催の産業まつり等	100	総合企画部 水政課
16	全日本中学生水の作文コンクール	「水の日」の趣旨にふさわしい事業の一環として次代を担う中学生を対象に「水について考える」をメインテーマに作文コンクールを行う。	県内各地から412編の応募があり、最優秀賞1編、優秀賞2編、奨励賞2編、学校賞3校を選定し、8月3日に表彰式を行った。	78	・募集期間 3月1日～5月9日 ・募集対象者 県内在住・在学の中学生	120	総合企画部 水政課
17	千葉県男女共同参画フェスティバル	本県の男女共同参画社会づくりに向けた機運を高めるため、「千葉県男女共同参画フェスティバル」では、県の男女共同参画の推進拠点として、講演や県内で男女共同参画の推進に向けて活躍する民間団体による体験講座を実施し、県民が楽しみながら男女共同参画への理解を深められるよう、民間団体と交流を行う。	千葉県男女共同参画フェスティバルの開催 日時:平成31年2月3日(日) 13:00～16:30 場所:千葉市生涯学習センター 大ホール他 内容等 ・講演会:「人生100年時代のワークライフバランス」 ・ワークショップ(防災・健康体操・脳トレ・箏曲演奏・落語・映画上映等) ・パネル展示 参加者数:335名	826	千葉県男女共同参画フェスティバルの開催 開催日:令和2年1月19日(日) 場所:千葉市生涯学習センター 内容等:公募による企画運営委員会により決定	1,315	総合企画部 男女共同参画課
18	千葉県歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール	県内公立小中学校及び特別支援学校・学級の児童・生徒を対象に、歯・口の健康に関するポスターを募集し、表彰することによって、口腔保健に関する正しい知識を普及啓発し、県民の健康の保持増進に寄与する。	平成30年7月5日審査実施、10月18日表彰式。 応募数 小学校低学年 12,414点、小学校高学年 8,752点、中学校 862点、特別支援学校・学級78点	244	県内公立小中学校及び特別支援学校・学級の児童・生徒を対象に、歯・口の健康に関するポスターを募集する。7月4日に審査を実施し、10月24日に表彰する。	299	健康福祉部 健康づくり支援課
19	心の輪を広げる障害者理解促進事業	障害者に対する国民の理解の促進を図るため、国民を対象に「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を公募する。	「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を7月～9月にかけて募集し、審査の上、優秀作品の表彰(11月)及び内閣府への推薦(9月)を行った。	-	「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を募集し、審査の上、優秀作品の内閣府への推薦及び表彰を行う。	-	健康福祉部 障害者福祉推進課
20	薬物乱用防止啓発ポスター募集	薬物乱用防止啓発に用いるポスターの募集を行う。	2年毎の実施とするため平成30年度は実施予定なし	-	県内在住者または県内に通勤・通学する者に対して薬物乱用防止啓発ポスターの募集を行い、最優秀作品及び優秀作品を選出、表彰する。	56	健康福祉部 薬務課
21	若年層対策献血啓発事業	中高生から献血啓発ポスターの募集を行う。	中学生及び高校生から献血啓発ポスターを募集することによって、若年層での献血の意識付けを図った。(中学生333点、高校生27点の応募)	193	募集期間:7月1日～9月3日 応募対象者:県内の中学校、高等学校に在学中の生徒 表彰式:10月24日千葉県献血感謝のつどいで表彰予定 知事賞、部長賞についてはポスター、リーフレット等で使用	332	健康福祉部 薬務課
22	愛鳥週間事業(千葉県愛鳥週間ポスターコンクール)	鳥獣保護思想の奨励・普及啓発を図るため、ポスターコンクールを実施する。	千葉県愛鳥週間ポスターコンクールに約5,300点応募があり、7月に審査会。8月に表彰式を実施し、9月より入賞作品の展示を実施。	237	4月初旬に県内の小・中・高等学校に参加の募集、7月に審査会、入選作品58点を選定する。8月に表彰式を開催し、県内各地で入選作品を展示する予定。	228	環境生活部 自然保護課

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
23	千葉県環境月間ポスター作品募集	環境保全に関するポスター作品を募集し、入賞作品を表彰し公表するとともに、啓発資料等に活用する。	小・中・高等学校・一般から応募のあった751点の環境月間ポスターから、入賞作品82点を選定。 また、平成29年度中に選定した入賞作品の内、特に優れた10作品を環境月間中にらぼーとTOKYO-BAY及び県庁内に展示した。また、入賞者を招待し、表彰式を行った。(10名出席)	203	作品募集:平成30年10月31日(水)まで(実施済) 審査会・入賞者決定:平成31年1月31日(木)(実施済) 外部での展示:令和元年6月4日(火)～6月13日(木) 県庁での展示:令和元年6月17日(月)～6月24日(月) 表彰式:令和元年6月26日(水)	322	環境生活部 循環型社会 推進課
24	国産花きイノベーション推進事業 (令和元年度～次世代国産花き確立推進事業)	生け花の展示などにより、生産技術の向上と花の魅力の発信を図る。	・9月30日に道の駅みのりの郷東金にて植木伝統樹芸士による植木の剪定・管理を実演し、一般の人々の植木への理解を深めた。 ・1月18日～31日に成田国際空港第1旅客ターミナルにて県産植木を用いた日本庭園の展示、及び1月20日にアンケートを実施し、日本人や国外の人々に日本庭園をPRできた。 ・1月4日～10日にそごう千葉店にて実施し、伝統的な生け花をPRできた。	17,287	・植木伝統樹芸技術実演会の開催(予定) ・成田空港における県産植木を利用した日本庭園の展示(予定) ・いけばなの展示(予定)	15,079	農林水産部 生産振興課
25	「明治期に活躍した農業用施設」の企画展	水田耕作において河川からの農業用水の確保に苦勞した歴史を次世代に伝えるため、明治期に造成された歴史的土壌か利用施設の展示を行う。また、写真コンテストでは、歴史的な土地改良施設の写真を募集する。	展示期間:平成30年8月16日～8月21日 展示場所:きぼーる1F 展示物:パネル、模型、DVD上映 その他:8月20日に写真コンテストの表彰を行った。	404	※H30のみ。明治150年関連施策。	-	農林水産部 耕地課
26	千葉県建築文化賞	安全で快適な建築空間の創出や環境負荷低減などに優れた建築物の普及啓発のため、千葉県建築文化賞を開催し、優良建築物の表彰を行う。ホームページ、ポスター、パンフレット等により作品の募集を行い、その表彰結果を紹介するなど、建築文化や居住環境に対する県民の意識の高揚を図る。	75作品の応募があり、最優秀賞1点、優秀賞4点、入賞4点、計9点を表彰した。	1,090	賞を年1回実施 (募集期間:7月上旬～9月下旬、表彰式:3月下旬)	1,341	県土整備部 建築指導課
27	さわやかちば県民プラザ事業 (No.5再掲)	音楽ワークショップ、東葛飾文化祭、ザ・ワールドオブプラス、クリスマスコンサート、県民プラザコンサート、高校生バンドフェスティバル、ヤングパワームーブメント、書のパフォーマンス発表会、アゴラマンズリーコンサートなどを実施する。	●音楽ワークショップ ・年間15回のワークショップの開催(参加者のべ1,884名) ・晩秋のコンサート11月25日(日)実施(参観者1,972名) ・新春のコンサート1月20日(日)実施(参観者2,118名) ●東葛飾文化祭(6月2日(土)～17日(日)) 参観者:のべ16,570名、参加団体:東葛飾6市118団体 ●ザ・ワールドオブプラス(5月12日(土)) 参観者:24,992名、参加団体:東関東の小・中・高等学校24校 ●クリスマスコンサート(12月15日(土)) 参観者:4,966名、参加団体:県内小・中・高等学校・特別支援学校計21校 ●県民プラザコンサート(3月17日(日)) 参観者:824名、プラザ利用団体計5組参加 ●高校生バンドフェスティバル(12月23日(日)) 参観者:1,037名、参加団体:県内高等学校13団体 ●ヤングパワームーブメント 実行委員会10回(参加者数のべ61名)、実施報告会 12月1日(土)実施(参観者32名) ●書のパフォーマンス発表会9月30日(日)実施(10月2日～14日ギャラリー展示予定) 参観者327名、参加団体:県内高等学校6校 ●アゴラマンズリーコンサート(毎月第3日曜日、計12回開催) 参観者:のべ1,159名	760	●音楽ワークショップ ・年間15回のワークショップ開催 ・晩秋のコンサート11月17日(日) ・新春のコンサート1月19日(日) ●東葛飾文化祭:開催期間6月15日(土)～23日(日) ●ザ・ワールドオブプラス:5月11日(土) ●クリスマスコンサート:12月14日(土) ●県民プラザコンサート:事業廃止 ●高校生バンドフェスティバル:12月25日(水) ●ヤングパワームーブメント:年間9回程度 ●書のパフォーマンス発表会: 9月29日(日)(10月1日～6日ギャラリー展示予定) ●アゴラマンズリーコンサート:毎月第3日曜予定(年間12回)	708	教育庁 生涯学習課
28	県立図書館事業	①県民への情報提供、図書の貸出・返却及び資料管理を的確かつ迅速に行うため、電算処理による図書館情報システムを導入し、円滑な運用を図る。 ②県民の読書や調査研究活動の支援と市町村立図書館等への協力・援助のために、書籍の収集整備をする。 ③子どもへの本の読み聞かせや読書の重要性について一層の理解を深めてもらうため、読み聞かせのボランティア活動を行う方などを対象に、子どもの本の読み聞かせについての講座を開催するほか、特別支援学校を訪問して読み聞かせを実施する。 ④県民が身近な市町村立図書館等を通じて県立図書館及び他の市町村立図書館の資料が利用できるよう、県内公共図書館間に情報と物流のネットワークを構築して運用している。また、高等学校・特別支援学校には、資料搬送車や宅配便による資料の貸出しを行っている。	①図書館情報システムについて、機器やデジタルアーカイブ等の更新を行った。 ②市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に11,145冊を購入整備した。 ③読み聞かせボランティア入門講座を2回開催し、58人の参加があった。 ④県内図書館や県立学校等へ図書館ネットワークを通じて207千冊の貸出しを行った。	131,381	①電算処理による図書館情報システムを運用。(65,178千円) ②市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に収集整備。(52,000千円) ③読み聞かせのボランティア活動を行う方などを対象に、子どもの本の読み聞かせについての研修会や講座の開催や、特別支援学校を訪問して読み聞かせを実施。(228千円) ④県内公共図書館間に情報と物流のネットワークを構築。高等学校・特別支援学校には、資料搬送車や宅配便による資料の貸出しを実施。(18,782千円)	136,188	教育庁 生涯学習課
29	ちばアクアラインマラソン開催事業	スポーツを通じ千葉が有する様々な魅力を発信するために東京湾アクアラインを活用した事業でランナーへのおもてなし等に文化芸術を活用する。	平成30年10月21日(日)に「ちばアクアラインマラソン2018」を開催し、過去最多となる604人の外国人ランナーを含めた、約1万6千人のランナーが参加した。コース沿道では、吹奏楽や和太鼓、ダンスなどの応援パフォーマンスで大会を盛り上げた。	118,233	令和2年秋に開催予定の「ちばアクアラインマラソン2020」の開催準備業務を行う。 ※マラソン開催事業における文化関連事業はボランティアを予定しているため、予算0円	47,000 (※)	教育庁 体育課

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
30	水道週間ポスター・ 標語コンクール	千葉県水道局では、県民の皆様の水道へのご理解をより深めていただくために、「水の大切さ」や「くらしを支える水道水」などを呼びかける「ポスター」及び「標語」作品を募集・審査・表彰し、作品集にまとめている。	応募総数:ポスターの部 493点、標語の部 1,372点 表彰式 :平成30年6月1日(金) 入賞者17名参加 作品展示:そごう千葉店地下1階そごうギャラリー 6月5日～11日 千葉県庁本庁舎1階連絡通路 6月15日～22日	861	応募総数:ポスターの部 556点、標語の部 907点 表彰式 :令和元年5月31日(金) 入賞者18名参加 作品展示:そごう千葉店地下1階そごうギャラリー 6月4日～10日 千葉県庁本庁舎1階連絡通路 6月25日～7月1日	1,140	企業局管理部 総務企画課
31	ギャラリー「二つ返事」	循環器病センター内のギャラリーに芸術品(絵画・書道・押し花・陶芸・写真等)を展示する。	年度途中で展示場所の変更があったが、計画通り半月～1カ月単位で全13団体の芸術品の展示を行うことができた。	-	全12団体の芸術品の展示を行う。	-	病院局 循環器病センター
32	県警音楽隊派遣	県民からの要請により、小・中学校、その他各種イベント会場に音楽隊を派遣し、演奏を行う。	派遣日数 132日 派遣回数 139回 (平成30年1月～12月) 聴衆人員 87,586人	-	派遣日数 128日 派遣回数 136回 (平成31年1月～令和元年12月) ※令和元年5月31日現在の予定	0	警察本部
33	県警音楽隊金曜コンサート	4月から10月(7～8月を除く。)までの間の金曜日に、千葉市内で演奏を行う。	実施回数7回(6月15日は雨天中止) 聴衆人員 2,110人	-	実施回数8回(千葉市内4箇所を拠点として、演奏を行う。) (4月12日、5月10日、17日、6月14日、28日、9月6日、10月4日、18日)	0	警察本部
34	県警音楽隊定期演奏会	音楽を通じて県民との融和を図るとともに、警察広報の効果を高めるため、演奏会を行う。	11月17日午前・午後2回実施 聴衆人員 2,826人 (午前1,424人、午後1,402人)	913	11月9日午前・午後2回公演実施予定	968	警察本部
35	千葉県議会議場演奏	県民文化の向上発展に資するため、議場内において演奏を行う。	-	-	令和元年6月定例県議会開会日(6月5日)に千葉交響楽団による議場演奏を行った。	-	議会事務局

③ 子どもたちの文化芸術活動の充実

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
36	若者の文化芸術活動育成支援事業	若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。	・補助金交付団体数:6団体	1,198	・申請団体への補助金交付 ・補助対象事業 40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象者 公益法人、文化芸術団体等 ・補助金 補助対象経費2/3以内 上限20万円	1,200	環境生活部 県民生活・文化課
37	学校音楽鑑賞教室	次代の文化を担う児童・生徒を対象として、質の高い演奏に触れる機会を提供するため、千葉交響楽団による巡回公演を実施する。	・55公演実施 (県立高等学校1校、県内公立小・中学校54校)	15,760	県内各地で48公演実施予定(5月～12月) (県立高等学校2校、県内公立小・中・特別支援学校 46校)	16,908	環境生活部 県民生活・文化課
38	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業	小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	洋楽 4校 伝統芸能(能楽・雅楽・三曲)各6校合計22校で実施した。	2,708	県内小中学校 22校実施予定 ・洋楽4校 ・伝統芸能(能楽・雅楽・三曲)各6校 18校	2,759	環境生活部 県民生活・文化課
39	千葉県少年少女オーケストラ育成事業	(公財)千葉県文化振興財団の行う少年少女オーケストラ育成事業に対し補助することにより、次代を担う少年少女の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図る。	・指導者を招聘し、定期的に練習を行った。(土・日を中心に100回) ・8月にトーンハレ・デュッセルドルフ・ユースオーケストラとの交流コンサート、3月に東京公演、定期演奏会を行った。	38,734	・定期練習(指導者の招聘、土・日曜日を中心に) ・夏と春に3回演奏会を実施予定	36,734	環境生活部 県民生活・文化課
40	子どもの読書活動の推進	「千葉県子どもの読書活動推進計画(第三次)」に基づき、乳幼児期からの読書活動を推進し、子どもが自主的に読書に親しむことができる環境の整備を進めていく。主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指し、リーフレットの作成・配付や「子ども読書の集い」の開催などの啓発活動を行う。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。	【平成30年度子どもの読書活動推進事業】 ・「千葉県子ども読書の集い」の実施。5月12日(土)開催。228名参加。 ・「公立図書館と学校の連携を図るための研修会」の実施。8月20日(月)開催。201名参加。 ・子どもの読書活動啓発リーフレット(改訂版)を作成。0歳児及び小学校1年生の保護者に配付。(乳幼児向け51,000部、小学生向け54,000部をそれぞれ作成)	682	・「千葉県子ども読書の集い」の実施。5月11日(土)開催。 ・「公立図書館と学校の連携を図るための研修会」の実施。8月26日(月)開催。 ・子どもの読書活動啓発リーフレットを作成。(乳幼児向け49,000部、小学生向け55,000部を作成し、それぞれ0歳児及び小学校1年生の保護者に配付)	820	教育庁 生涯学習課
41	高等学校文化連盟補助	国や県の教育施策等に基づき、高校生の文化活動の向上・発展及び普及振興を図るため、千葉県高等学校文化連盟に補助金を交付する。	千葉県高等学校文化連盟に補助金を交付し、36行事の共催、研修会等を実施した。高校生の芸術文化活動の向上発展を図ることができた。	4,500	千葉県高等学校文化連盟に補助金を交付する等、高校生の文化活動の支援を行う。	4,500	教育庁 学習指導課
42	ちば文化発信プロジェクト事業	千葉県の文化に対する県民の関心を高めるため、特別展を開催し、小中学生等保入生の保護者へ無料入場券の配付を行う。	「美術館・博物館に行こうプロジェクト」として、県内小中学校新入生102,323名に保護者の県立美術館・博物館への無料入場券を配付した。また、中央博物館において特別展「恐竜ミュージアムinちば」を開催し、52,776名の入場者を得た。	15,734	新入生無料入場券約12万枚の配付及び、県立美術館で特別展「絵のみち・祈りのこころー日本画家・後藤純男の全貌ー」を実施予定。	19,398	教育庁 文化財課

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
43	「授業に役立つ県立博物館」プロジェクト	県立博物館が保有する研究成果を活用した学習キットを製作し、学校に貸出し等を行い、授業を支援する。	学校等へ、449件の学習キットの貸出を実施した。	394	前年度と同程度の学習キット貸し出し、運用を予定。	400	教育庁 文化財課
44	出土文化財管理活用事業	発掘調査で出土した実物資料等を用い、出張展示・出前授業・体験学習指導等を実施するとともに出土品を利用した学習キットを作成し、小学校への配付を拡充する事業。	出土文化財を活用した出前授業・体験学習等の実施件数は118件であった。作成した学習キットを必要な学校に配布し、学習キットのメンテナンスをおこなった。	11,724	出土文化財を活用した出前授業・体験学習等を実施予定。学習キットを作成し、必要な学校に学習キットの追加配付を行い、メンテナンスを行う予定。	8,383	教育庁 文化財課
45	県警音楽隊派遣 (No.32再掲)	県民からの要請により、小・中学校、その他各種イベント会場に音楽隊を派遣し、演奏を行う。	派遣日数 132日 派遣回数 139回 (平成30年1月～12月) 聴衆人員 87,586人	-	派遣日数 128日 派遣回数 136回 (平成31年1月～令和元年12月) ※令和元年5月31日現在の予定	0	警察本部

④ 高齢者・障害者等の文化芸術活動の充実

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
46	文化プログラム関連イベント事業 (No.119から抜粋)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。	○「千葉・県民音楽祭」 楽器演奏者及び県内障害者団体・合唱団体が千葉交響楽団と共演するコンサートイベントを平成31年3月2日に開催し、1,358名の来場があった。 (楽器演奏者及び障害者団体は一般公募を実施) 楽器演奏者一般公募:8月17日～9月18日、応募者88名、35名選定 障害者団体一般公募:10月1日～11月26日、応募団体3、2団体選定	15,536	○「千葉・県民音楽祭」 平成31年度は一般公募制の「合唱ステージ」、平成32年度はさらに同じく一般公募制の「ダンスステージ」を加えることで、年々その内容を充実させ、総合芸術ステージとして「千葉文化」を発信していく。	13,850	環境生活部 県民生活・文化課
47	特別支援学校巡回コンサート	プロのオーケストラによる質の高い優れた演奏を、コンサート会場に向くことが困難な特別支援学校の児童・生徒に広く提供するため、千葉交響楽団による巡回公演を実施する。	障害特性等によりコンサート会場に向くことが困難な特別支援学校の児童・生徒に対し、千葉交響楽団各学校に向き演奏を届ける事業である。年間18校の特別支援学校を巡回した。	13,331	県内の特別支援学校(平成30年度の実施校と異なる学校)で18公演実施予定(5月～1月)	13,590	環境生活部 県民生活・文化課
48	千葉・県民芸術祭 (No.1再掲)	県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	県域文化団体行事(28件)及び中央行事の計29行事を実施。 中央行事来場者:1,354名 県域文化団体行事来場者:66,264名	6,050	・期間:6月29日～2月20日 ・32事業を開催(県域文化団体31行事及び中央行事)	4,050	環境生活部 県民生活・文化課
49	千葉県生涯大学校管理運営事業	県内5学園の運営を通して、高齢者の社会活動を支援するための学習機会を提供するとともに、生きがい・健康・仲間づくりに資する。	平成30年度入学者数 1,351名	265,090	県内5学園の運営 ・高齢者の社会活動を支援するための学習機会の提供 ・文化講座開講予定	285,000	健康福祉部 高齢者福祉課
50	千葉県福祉ふれあいプラザ管理運営事業	「介護実習センター」、「介護予防トレーニングセンター」、「ふれあいホール」の運営を通して、高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の機会を提供する。	平成30年度年間利用者数 203,695名	90,500	「介護実習センター」、「介護予防トレーニングセンター」、「ふれあいホール」の運営 高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の提供	92,200	健康福祉部 高齢者福祉課
51	さわやか芸能発表会	知的障害児・者とその家族、福祉関係者等が一同に会し、知的障害児・者が日頃取り組んでいる文化活動の発表を通じて交流を深めるとともに、県民の理解と声援を得る。	平成30年12月4日 千葉県文化会館で開催 音楽や演劇の発表 参加者:約1,500名	156	令和元年12月 千葉県文化会館 知的障害児・者が日頃取り組んでいる文化活動の発表を行う。	156	健康福祉部 障害者福祉推進課
52	千葉県身体障害者作品展	県内の身体障害者が自らの趣味やリハビリ活動の中でその技術を活かして制作した作品を公開展示して、障害者の積極的な自己表現の場を提供し、自立への大きな活力とするとともに、県民の障害者への理解を広める。	作品展を10月23日(火)～28日(日)、千葉県立美術館で開催。 121名の出品者から204点の出品があり、優秀作品には知事賞をはじめ各賞を11名に授与した。	236	作品展を10月22日(火)～27日(日)、千葉県立美術館で予定。	236	健康福祉部 障害者福祉推進課
53	手をつなぐ作品展事業	肢体不自由児に対する愛護思想の普及を図るため、県内の小・中・特別支援学校に障害に関する作文・絵画を募集し、優秀作品を表彰する。また、併せて優秀作品を県庁に展示し、作品集を作成し、関係機関に配布する。	作品募集を9月1日～10月15日まで行い、11月上旬に審査会・入賞者決定。12月中旬に県庁での展示、2月下旬に表彰式。作文116点の応募があり、優秀作品として作文11点を選定、表彰した。	230	作品募集:9月1日～10月15日まで 審査会 入賞者決定:11月上旬 県庁での展示:12月中旬 表彰式:2月下旬	230	健康福祉部 障害者福祉推進課
54	障害者芸術文化活動普及支援事業	障害のある人や障害福祉サービス事業所等の芸術文化活動(美術及び舞台芸術)を支援する「障害者芸術文化活動支援センター(支援センター)」を設置し、障害のある人の自立と社会参加の促進を図る。	—	—	支援センター実施主体の募集期間:6月上旬～7月上旬 審査会、実施主体の決定:7月中旬 事業期間:8月上旬～R2.3.31 (支援センター実施事業) 県民相談、事業所向け研修会、展覧会等:随時(実施主体が計画する)	7,028	健康福祉部 障害者福祉推進課
55	ギャラリー「二つ返事」(No.31再掲)	循環器病センター内のギャラリーに芸術品(絵画・書道・押し花・陶芸・写真等)を展示する。	年度途中で展示場所の変更があったが、計画通り半月～1カ月単位で全13団体の芸術品の展示を行うことができた。	-	全12団体の芸術品の展示を行う。	-	病院局 循環器病センター

⑤ 伝統文化にふれる機会の提供

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
56	伝統的工芸品産業振興事業	県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧や動画を掲載したホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわの振興計画実施のための費用を助成 (5)全国・関東規模の伝統的工芸品展等への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施	・千葉県伝統的工芸品を5品新規指定した。 ・「千葉工匠具」が新たに経済産業大臣の指定を受けた。 ・千葉県伝統的工芸品一覧作成(1万部印刷しPR効果の高い場所で配付)、PR映像を制作するとともにインターネットにも掲載した。(とんぼ玉及び南総尺八) ・後継者養成事業を実施する市町村に助成を行った。 ・国指定伝統的工芸品(房州うちわ)の振興計画実施費用を助成した。 ・房州うちわが関東規模の伝統的工芸品展に参加した。(2月7日～13日新宿タカシマヤにて) ・伝統的工芸品の販売促進事業を実施した。(2月8日～12日イオンモール幕張新都心にて20品出展)	3,805	県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 ・千葉県指定伝統的工芸品制度の見直し及び工芸品の指定 ・千葉県伝統的工芸品一覧の制作 ・後継者養成事業を実施する市町村に助成 ・国指定伝統的工芸品房州うちわおよび千葉工匠具の振興計画実施のための費用を助成 ・全国・関東規模の伝統的工芸品展等への参加 ・伝統的工芸品の販売促進事業の実施	4,664	商工労働部 観光企画課
57	食のおもてなし力向上事業	2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、国内外からの観光客のさらなる増加が見込まれる中、食に関する魅力ある観光地づくりとおもてなし力の向上を図るため、本県ならではの食の魅力として「郷土料理」に着目し、観光客が本県の誇る郷土料理を知り、味わえる環境づくりを進める。	<農林水産物直売所等おもてなし力向上事業> ・県内5エリアで農林水産物直売所、農林漁家レストラン、農林漁業体験施設の各施設を対象に開催。 ・期間:平成30年10～12月 ・参加者:47名 ・内容:おもてなしトイレセミナー、商品デザイン講座、ご当地野菜のレシピ開発講座 <ちばの郷土料理再発見事業> ・郷土料理に関する取組をしている団体・個人や有識者等から意見を聴取する協議会を設置し、6区分に分け、県産食材を活用し、千葉県ならではのストーリー性がある料理を20品選定。 ・郷土料理啓発パンフレットの作成、配布(20,000部作成、各県内施設へ配布) ・県内飲食店・宿泊施設の料理人向け「ちばの郷土料理」研修会を2回実施 期間:平成30年12月3日、平成30年12月10日 参加者:28名 内容:座学及び郷土料理実演 ・郷土料理を取り扱う店舗を広くPRするため、「ちば直売所フェア」を活用した「郷土料理フェア」を開催	6,923	<ちばの郷土料理再発見事業> ・県内の郷土料理の中から普及対象料理を新たに選定するため、郷土料理(食文化)関係者や有識者が参画する協議会を開催し、ちばの郷土料理に係る区分を設定する ・県内のホテルや飲食店でのメニュー化を推進するため、郷土料理を提供する施設を広くPRする「ちばの郷土料理フェア(仮称)」を開催 ・ちばの郷土料理の国内外へのPRのため、郷土料理パンフレットを作成、配布	5,500	農林水産部 流通販売課
58	ちばの食育活動促進事業	市町村、関係団体、ちば食育サポート企業、ちば食育ボランティア等との連携・協働による広報・啓発活動や体験活動による食育推進運動の展開を図る事業。ちば食育ボランティアには、郷土料理の伝承のための活動を行っている方々も含まれている。	①啓発リーフレットの作成、配付(8種類、85,000部) ②地域食育活動交換会の開催10回 ③ちば食育ボランティア研修会2回 ④ちば食育推進大会の開催1回	2,935	①啓発リーフレットの作成、配付(6種類、84,000部) ②地域食育活動交換会の開催10回 ③ちば食育ボランティア研修会2回 ④ちば食育推進大会の開催1回	5,472	農林水産部 安全農業推進課
59	水産物消費・食育対策事業	おさかな普及員の派遣、食育実習の情報提供及び魚食普及パンフレットの作成・配布を行い、魚食普及を通じて「食育」を推進する。	おさかな普及員の派遣 11回 魚食普及パンフレットの配布	139	・おさかな普及員派遣(12回) ・魚食普及パンフレットの配布	288	農林水産部 水産課
60	房総の郷土芸能	県内の獅子舞や神楽等の民俗芸能の公開事業。	佐倉市民小名岳ホールにおいて「房総の郷土芸能2018」を開催し、東葛地区、印旛地区の7つの団体が出演した。	885	・令和2年1月26日に、「房総の郷土芸能2019」を主催する予定。 ・令和元年11月に長野市で開かれる「関東ブロック民俗芸能大会」に、「野田のぼっばか獅子舞」を派遣する予定。	1,457	教育庁 文化財課
61	房総のむら事業	古代から近代までの伝統的生活様式や技術を体験的に学ぶ博物館の指定管理委託事業。	指定管理者(千葉県教育振興財団)によって、伝統文化等の体験を中心とした事業を行い、253,240名の入場者を得た。	-	イベント、展示会、体験事業を実施予定。	-	教育庁 文化財課
62	郷土食体験事業	関宿城博物館において「鷹菜漬け」「そば打ち」などの体験事業を行う	関宿城博物館において、そば打ち、小麦まんじゅう・鷹菜漬け、4事業12回の食文化体験事業を行い、147名の参加者を得た。	166	4事業を実施予定。	264	教育庁 文化財課

⑥ 伝統文化の保存・継承、担い手の育成

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
63	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業(No.38再掲)	小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	洋楽 4校 伝統芸能(能楽・雅楽・三曲)各6校合計22校で実施した。	2,708	県内小中学校 22校実施予定 ・洋楽4校 ・伝統芸能(能楽・雅楽・三曲)各6校 18校	2,759	環境生活部 県民生活・文化課

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
64	伝統的工芸品産業振興事業 (No.56再掲)	県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧や動画を掲載したホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわの振興計画実施のための費用を助成 (5)全国・関東規模の伝統的工芸品展等への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施	・千葉県伝統的工芸品を5品新規指定した。 ・「千葉県工匠」が新たに経済産業大臣の指定を受けた。 ・千葉県伝統的工芸品一覧作成(1万部印刷しPR効果の高い場所に配付)、PR映像を制作するとともにインターネットにも掲載した。(とんぼ玉及び南総尺八) ・後継者養成事業を実施する市町村に助成を行った。 ・国指定伝統的工芸品(房州うちわ)の振興計画実施費用を助成した。 ・房州うちわが関東規模の伝統的工芸品展に参加した。(2月7日～13日新宿タカシマヤにて) ・伝統的工芸品の販売促進事業を実施した。(2月8日～12日イオンモール幕張新都心にて20品出展)	3,805	県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 ・千葉県指定伝統的工芸品制度の見直し及び工芸品の指定 ・千葉県伝統的工芸品一覧の制作 ・後継者養成事業を実施する市町村に助成 ・国指定伝統的工芸品房州うちわおよび千葉県工匠の振興計画実施のための費用を助成 ・全国・関東規模の伝統的工芸品展等への参加 ・伝統的工芸品の販売促進事業の実施	4,664	商工労働部 観光企画課
65	「ちばの花植木産地」パワーアップ事業	植木伝統樹芸士・銘木100選の選定や花植木の消費拡大・販売促進などを行う。	「千葉県植木伝統樹芸士」の認定2名(累計61名)、「植木銘木100選」の認定4本(累計96本)	2,937	「千葉県植木伝統樹芸士」の認定、2名累計63名、「植木銘木100選」の認定、4本累計100本。(R2.1)	3,108	農林水産部 生産振興課
66	房総の郷土芸能 (No.60再掲)	県内の獅子舞や神楽等の民俗芸能の公開事業。	佐倉市民小名岳ホールにおいて「房総の郷土芸能2018」を開催し、東葛地区、印旛地区の7つの団体が出演した。	885	・令和2年1月26日に、「房総の郷土芸能2019」を主催する予定。 ・令和元年11月に長野市で開かれる「関東ブロック民俗芸能大会」に、「野田のぼっば獅子舞」を派遣する予定。	1,457	教育庁 文化財課
67	千葉県無形民俗文化財連絡協議会	国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。	佐倉市市民音楽ホールにおいて「房総の郷土芸能2018」を主催、949名の参加があった。 「坂戸の念仏」の記録映像の解説書と、会報の作成を実施した。	—	・令和2年1月26日に、香取市佐原文化会館において「房総の郷土芸能2019」を主催する予定。	—	教育庁 文化財課
68	郷土食体験事業 (No.62再掲)	関宿城博物館において「鷹菜漬け」「そば打ち」などの体験事業を行う	関宿城博物館において、そば打ち、小麦まんじゅう・鷹菜漬け、4事業12回の食文化体験事業を行い、147名の参加者を得た。	166	4事業を実施予定。	264	教育庁 文化財課

⑦ 文化財の保存整備の支援

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
69	文化財保護審議会	文化財指定のための調査・審議、諮問に対する答申、既指定文化財の保存状況調査・保存管理に係る指導助言を行う。	4回の保護審議会を開催し、調査・諮問・答申の結果、県指定文化財5件の新指定、1件の指定解除、1件の指定内容の変更を実施した。	1,115	・年4回の保護審議会を開催し、第3回で諮問、第4回で答申を受けて県指定文化財の指定を行う。 ・指定候補文化財調査を、有形文化財4件、民俗文化財1件、記念物4件の、計9件について実施する予定。 ・指定文化財保存状況調査を、有形文化財14件、民俗文化財3件、記念物2件の、計19件について実施する予定。	1,560	教育庁 文化財課
70	指定候補文化財等調査事業	千葉県にとって重要な文化財を永く保護するため指定候補となる文化財調査及び既指定文化財の保存状況の調査を行う。	指定候補文化財調査を、有形文化財6件、民俗文化財2件、記念物2件の、計10件に対して実施した。 指定文化財保存状況調査を、有形文化財11件、民俗文化財2件、記念物2件の、計15件に対して実施した。				教育庁 文化財課
71	文化財保存整備助成事業	国及び県指定文化財の所有者が行う保存修理等に係る助成事業。	国指定文化財6件、県指定文化財8件の保存整備事業を実施した。	39,667	・国指定文化財7件、県指定文化財9件について保存整備事業を実施する予定。	44,000	教育庁 文化財課
72	文化財管理助成事業	国指定文化財の防災設備点検等の所有者が行う維持管理事業に係る助成事業。	国指定文化財(建造物)16件と国有文化財1件に対して、日常管理費及び修理費を助成した。	1,158	・引き続き国指定文化財16件、国有文化財1件に対して助成を行う予定。	1,223	教育庁 文化財課
73	史跡等購入助成事業	史跡を保存活用するために市町村が行う公有化の助成事業。	国指定文化財(天然記念物)1件の公有地化事業に対して、国庫補助に随伴して助成した。	221	・国指定文化財2件(天然記念物1、史跡1)の公有地化事業に対して、国庫補助に随伴して助成する。	2,838	教育庁 文化財課
74	重要遺跡確認調査	県内に所在する重要遺跡について確認調査等を実施。重要な出土品を長期にわたり安定した状態で保存するために、金属製品等の保存処理を実施。	南房総市正文寺やぐら群の確認調査を実施。 縄文時代集落・貝塚等を対象として重要遺跡の詳細分布調査を実施。 出土金属製品等の保存処理を実施。	1,967	南房総市正文寺やぐら群の調査報告書を刊行予定。 縄文時代集落・貝塚等を対象として重要遺跡の詳細分布調査を実施予定。 出土金属製品等の保存処理を実施予定。	2,010	教育庁 文化財課
75	埋蔵文化財緊急調査助成	土地区画整理事業、個人住宅建設等に伴う発掘調査費の助成事業。	24市町に対する発掘調査等の助成を実施。	11,899	25市町に対する発掘調査等の助成を予定。	13,939	教育庁 文化財課
76	不特定遺跡発掘調査助成	事業者が個人の個人専用住宅、小規模農地造成等において、緊急性の高い事業の発掘調査費の助成事業。	7市合計13件の発掘調査等に対して助成を実施。	3,205	5市合計10件程度の発掘調査等に対して助成を予定。	3,500	教育庁 文化財課
77	出土文化財管理活用事業 (No.44再掲)	発掘調査で出土した実物資料等を用い、出張展示・出前授業・体験学習指導等を実施するとともに出土品を利用した学習キットを作成し、小学校への配布を拡充する事業。	出土文化財を活用した出前授業・体験学習等の実施件数は118件であった。作成した学習キットを必要な学校に配布し、学習キットのメンテナンスをおこなった。	11,724	出土文化財を活用した出前授業・体験学習等を実施予定。学習キットを作成し、必要な学校に学習キットの追加配付を行い、メンテナンスを行う予定。	8,383	教育庁 文化財課
78	発掘調査現地説明会	地域の歴史や文化への関心・理解を促すため、発掘調査中の遺跡の状況や成果を公開する事業。	10/6 文化財めぐりと前平井遺跡の見学会(流山市)参加者186名。	33	発掘調査中の遺跡及び周辺文化財の見学会を実施予定。	36	教育庁 文化財課

⑧ 文化的景観等の保全・活用

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
79	景観セミナー	良好な景観の形成に関する普及啓発及び知識の普及を図るため、県民等を対象として、県内各地で景観セミナーや研修会等を開催する。	景観セミナー及びフォーラムを4回実施 ①H30.5.26・景観まちづくりフォーラム「海辺の復興景観まちづくり～伝えよう 子供たちの笑顔のために！～」・まち歩き、活動報告、パネルディスカッション・旭市・119名 ②H30.9.8・第1回景観セミナー「城下町と渓谷をつなぐ景観まちづくり」・講演、活動紹介、パネルディスカッション・大多喜町・58名 ③H30.10.25・第2回景観セミナー「文豪が歩いた小径から、屋外広告物を考える」・講演、まち歩き、ワークショップ・我孫子市・68名 ④H31.3.23・第3回景観セミナー「人と人のつながりが景観をつくる～郷土愛の心を育む日本一古い町・酒々井～」・講演、活動紹介、パネルディスカッション・酒々井町・65名	505	景観セミナー・景観まちづくりフォーラム等を4回実施 ①R1.6.15 景観まちづくりフォーラム 千葉市 「景観まちづくりフォーラムin学園通り ー楽しいをカタチにー」 ②R1.10月 景観セミナー 館山市 「未定」 ③景観セミナー(詳細は未定) ④詳細は未定	1,533	県土整備部 公園緑地課
80	文化財探検隊	文化財をととして郷土の自然と歴史、文化等に関して理解を深め、文化財保護の大切さを知る見学会。	6/2、上総国一之宮の文化財をめぐる、一宮町、参加者47名。 10/13、みなとまち木更津の文化財をめぐる、木更津市、参加者45名。 12/1、本佐倉城周辺の文化財をめぐる、佐倉市・酒々井町、参加者44名。	-	6/1 白井市周辺の文化財をめぐる(白井市)参加者47名 10/5 大網白里市 11/30 神崎町	12	教育庁 文化財課

⑨ 文化資源の活用と地域の活性化

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
81	ちば文化交流ボックス(No.3再掲)	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	・地域のイベント情報 79件 ・ホームページの閲覧件数 73万件	-	・地域のイベント情報 目標件数 90件 ・ホームページの閲覧目標件数 70万件	-	環境生活部 県民生活・文化課
82	文化プログラム関連イベント事業(No.119から抜粋)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。	○「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」 県民投票の結果等を踏まえ、8月に111件を「ちば文化資産」として選定した。その後、「ちば文化資産」を紹介するガイドブック(日本語版及び英語版)及び周遊ルート(1コース)の作成を行った。 また、「ちばアート祭2019」として、「ちば文化資産」をテーマとした絵画・写真作品を募集した(締切:5月31日(金))	6,757	○「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』PR事業」 「ちば文化資産」に選定された資産を巡るスタンプラリーを年2回(8月、2月)実施する。 また、PRのための動画及び周遊ルートの作成を行う。 ○「ちばアート祭2019」 「ちばアート祭」を会場や作品のテーマとして活用し、多様な人が参加・体験できるイベントを実施する。 開催場所:ちば県立美術館及び千葉ポートパーク(円形広場) 開催期間:8月14日(水)～25日(日) 開催概要:絵画・写真公募展、ワークショップ、デジタルアート作品の展示	26,472	環境生活部 県民生活・文化課
83	千葉県フィルムコミッション運営事業	映画等のロケーション誘致による地域知名度の向上や観光客の誘致、直接的な経済効果を目的に、以下の取組を行う。 (1)映像関係者に対する相談業務及び撮影支援 (2)市町村との連携強化及び市町村FCの設立の促進、ロケーション撮影の受入体制強化 (3)ロケ地を巡る旅であるフィルムツーリズムの促進、ロケ地と近隣の観光スポットを絡めた情報発信等 (4)映画、テレビ番組の誘致のための補助金に係る広報、申請受付、ロケ同行等	映像制作関係者への撮影支援・ホームページ等による広報活動などの業務を、千葉県フィルムコミッション(H14年度設立。ちば国際コンベンションビュロー内。)に委託して実施した。 ホームページには文化資源の情報を掲載し、ロケーション誘致の促進を図った。	25,999	映像制作関係者への撮影支援・ホームページ等による広報活動などの業務を、千葉県フィルムコミッションに委託して実施する。	26,300	商工労働部 観光誘致促進課
84	観光イベントブック「ちばnote」作成事業	本県の旬の観光・レジャー情報を掲載し、県民等向けに観光情報を広くPRしている。	2か月に1回(年6回)、千葉県の旬の観光・レジャー情報が掲載された「ちばのnote」を県民等向けに発行した。季節に応じた旬の特集やイベント、祭事等の文化資源等を掲載し広報を行った。	6,480	2か月に1回(年6回)、千葉県の旬の観光・レジャー情報が掲載された「ちばnote」を県民等向けに発行する。季節に応じた旬の特集や、夏・秋・早春の観光キャンペーンの情報も適宜掲載を検討する。 ※配布先:鉄道駅、道の駅、宿泊施設、地方銀行、県立博物館・美術館等	9,940	商工労働部 観光誘致促進課
85	歴史の里の音楽祭等(県民芸術劇場)	重要文化財学習院旧初等科正堂において室内音楽を演奏・公開する事業。(指定管理者の自主事業)	事業を3回実施し、参加者は577名。	-	1回の事業を実施予定。	-	教育庁 文化財課

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
86	日本遺産魅力発信推進事業	日本遺産に認定されたストーリーを地域全体として一体的に整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。今年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や人材育成などの事業を行う。	【情報発信・人材育成事業】 ・インバウンドPR広告事業として、SNS等を利用したPR広告を実施。既存動画を再編集してFacebookやWEIBOで配信、Facebook上でクイズイベントやコメント投稿イベントを実施した。 【普及啓発事業】 ・人材発掘事業として、地元住民や企業等が参加するワークショップ「ワールドカフェ」を香取市と銚子市で開催した。 ・観光ガイド養成事業として、観光ガイドマニュアルを活用し、地元観光ガイドに対する現地研修を実施した。 ・体験プログラム調査・造成等事業として、既存の体験プログラムを調査し、モニターツアーを実施した上でツアーの造成を行った。 【調査研究事業】 携帯電話契約者の移動情報を利用して、訪問先・時期・嗜好性等のデータを採取し、分析・報告を行った。	-	・国・県・市等によるイベントへの参加・出展を行なう。 ・デジタルマップやホームページの更新により、最新の情報を発信する。 ・成田空港会社や成田空港活用協議会と連携し、PRを行なう。	-	教育庁 文化財課
87	日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会交付金	日本遺産に認定されたストーリーを地域全体として一体的に整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。今年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や人材育成などの事業を行う。	・国庫補助金の交付時期(平成31年2月頃)までのつなぎ資金として、活用協議会が県からの交付金を受けた。 ・各事業を実施して交付金から委託料等を支出し、国庫補助金交付後に県へ交付金を返還した。	1,564	-	0	
88	県有文化財管理活用事業	郷土の文化財に対する理解を深めるとともに、文化・観光資源としての文化財の公開活用を促進するため、市町村や関係機関等との連携により、千葉県指定有形文化財「千葉県立安房南高等学校旧第一校舎」の管理・公開事業を実施する。	10/27、千葉県立安房南高等学校旧第一校舎一般公開事業、館山市、参加者966名。	2,146	10/27(日)に実施予定。	1,500	

⑩ 多様な文化の発展

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
89	文化プログラム関連イベント事業 (No.119から抜粋)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。	○「千葉・県民音楽祭」 楽器演奏者及び県内障害者団体・合唱団体が千葉交響楽団と共演するコンサートイベントを平成31年3月2日に開催し、1,358名の来場があった。 (楽器演奏者及び障害者団体は一般公募を実施) 楽器演奏者一般公募:8月17日～9月18日、応募者88名、35名選定 障害者団体一般公募:10月1日～11月26日、応募団体3、2団体選定	15,536	○「千葉・県民音楽祭」 平成31年度は一般公募制の「合唱ステージ」、平成32年度はさらに同じく一般公募制の「ダンスステージ」を加えることで、年々その内容を充実させ、総合芸術ステージとして「千葉文化」を発信していく。	13,850	環境生活部 県民生活・文化課
90	若者の文化芸術活動育成支援事業 (No.36再掲)	若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。	・補助金交付団体数:6団体	1,198	・申請団体への補助金交付 ・補助対象事業 40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象者 公益法人、文化芸術団体等 ・補助金 補助対象経費2/3以内 上限20万円	1,200	環境生活部 県民生活・文化課
91	県立文化会館自主事業、管理運営事業 (No.2再掲)	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	各館の特色を生かして、公演・県民参加型ミュージカル・音楽ワークショップ・伝統文化体験等を様々な事業を実施した。会館利用者数880,781名利用件数4,970件	596,002	・各館の特色を生かして、公演・県民参加型ミュージカル・音楽ワークショップ・伝統文化体験等の様々な事業を実施	601,380	環境生活部 県民生活・文化課
92	さわやかちば県民プラザ事業(ヤングパワームーブメント)(No.5から抜粋)	若者の自主的な活動を広く世間に広めていくために発表の機会を提供する。ボランティア活動・文化創作活動・体験活動を実践している県内の若者の活動の成果発表の場を提供する。	実行委員会10回(参加者数のべ61名) 実施報告会 12月1日(土)実施(参観者32名)	195	年間9回程度予定	184	教育庁生涯学習課

⑪ 「ちば文化」の魅力の発掘と情報の収集・提供

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
93	文化プログラム関連イベント事業 (No.119から抜粋)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。	○「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」 県民投票の結果等を踏まえ、8月に111件を「ちば文化資産」として選定した。その後、「ちば文化資産」を紹介するガイドブック(日本語版及び英語版)及び周遊ルート(1コース)の作成を行った。 また、「ちばアート祭2019」として、「ちば文化資産」をテーマとした絵画・写真作品を募集した(締切:5月31日(金))	6,757	○「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』PR事業」 「ちば文化資産」に選定された資産を巡るスタンプラリーを年2回(8月、2月)実施する。 また、PRのための動画及び周遊ルートの作成を行う。 ○「ちばアート祭2019」 「ちばアート祭」を会場や作品のテーマとして活用し、多様な人が参加・体験できるイベントを実施する。 開催場所:ちば県立美術館及び千葉ポートパーク(円形広場) 開催期間:8月14日(水)～25日(日) 開催概要:絵画・写真公募展、ワークショップ、デジタルアート作品の展示	26,472	環境生活部 県民生活・文化課
94	ちば文化交流ボックス(No.3再掲)	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	・地域のイベント情報 79件 ・ホームページの閲覧件数 73万件	—	・地域のイベント情報 目標件数 90件 ・ホームページの閲覧目標件数 70万件	—	環境生活部 県民生活・文化課
95	博物館情報システム事業	県立博物館が所蔵する資料のデータベース・デジタルミュージアムの構築と公開、情報発信事業	博物館のホームページ、収蔵資料データベース、デジタルミュージアム等で情報発信を行った。	34,616	博物館のホームページ、収蔵資料データベース、デジタルミュージアム等の情報発信を実施予定。	34,937	教育庁 文化財課
96	ふさの国文化財ナビゲーションシステム	国・県指定文化財及び周知の埋蔵文化財包蔵地の地理情報をインターネット上で公開する事業。	国・県指定文化財2件、埋蔵文化財包蔵地の64件の情報を更新し、管理システムの更新、公開ページはちばマップに移行を実施した。	6,876	国・県指定文化財、埋蔵文化財包蔵地の情報を更新、公開を予定。	607	教育庁 文化財課

⑫ 「ちば文化」の魅力を発信する文化事業の充実

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
97	文化プログラム関連イベント事業 (No.119から抜粋)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。	○「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」 県民投票の結果等を踏まえ、8月に111件を「ちば文化資産」として選定した。その後、「ちば文化資産」を紹介するガイドブック(日本語版及び英語版)及び周遊ルート(1コース)の作成を行った。 また、「ちばアート祭2019」として、「ちば文化資産」をテーマとした絵画・写真作品を募集した(締切:5月31日(金))	6,757	○「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』PR事業」 「ちば文化資産」に選定された資産を巡るスタンプラリーを年2回(8月、2月)実施する。 また、PRのための動画及び周遊ルートの作成を行う。 ○「ちばアート祭2019」 「ちばアート祭」を会場や作品のテーマとして活用し、多様な人が参加・体験できるイベントを実施する。 開催場所:ちば県立美術館及び千葉ポートパーク(円形広場) 開催期間:8月14日(水)～25日(日) 開催概要:絵画・写真公募展、ワークショップ、デジタルアート作品の展示	26,472	環境生活部 県民生活・文化課
98	県民の日事業	県民が千葉の魅力を再発見し、郷土愛を育み、千葉アイデンティティを醸成する機会とするため、「県民の日」を記念する行事を県内各地で実施する。また、県民の日中央行事として、幅広い世代の県民が楽しめる参加・体験型のイベントを実施する。	・中央行事:6月10日に幕張メッセで「県民の日ちばワクワクフェスタ2018」を開催。来場者数約13,000人。 ・地域行事:11件実施 ・賛同行事:302件実施	58,699	・中央行事 6月16日に幕張メッセで「県民の日ちばワクワクフェスタ2019」を開催。来場者数約14,500人。 ・地域行事 11件実施 ・賛同行事 321件実施(市町村や民間企業等を対象に、平成31年2月から令和元年5月まで募集)	64,000	環境生活部 県民生活・文化課
99	国民文化祭周知・派遣	毎年、各県持ち回りで開催される国民文化祭について、県内に周知するとともに、県内団体の派遣に伴う事務を行う。	・「第33回国民文化祭・おおおいた2018」 ・10月6日～11月25日 ・県内文化団体6団体を派遣(洋舞踊、オーケストラ、健康マージャン、邦楽、競技かるた(百人一首)、オペラ)	—	・参加団体の募集・周知 9月15日～11月30日 新潟県「第34回国民文化祭・にいがた2019」「第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会」	—	環境生活部 県民生活・文化課
100	「ゆめみるチーバくん」ダンス関連事業	チーバくんを活用したさらなる魅力発信のため、テーマソング&ダンス「ゆめみるチーバくん」のダンスコンテストをインターネット上で開催し、「県民の日ちばワクワクフェスタ2019」において決勝大会を開催する。 また、ダンスキャラバン隊を編成し、県内の学校等での普及活動を行う。	名称:「ゆめみるチーバくん」ダンスコンテスト 応募方法:インターネット上の動画投稿サイトへの投稿 応募期間:平成30年12月15日～平成31年3月20日 24組延べ273名の応募があり、決勝大会に出場する6チームを決定した。	1,957	名称:「ゆめみるチーバくん」ダンスコンテスト決勝大会 日時:6月16日(日)12:05～13:05 (「県民の日ちばワクワクフェスタ2019」メインステージ) 場所:幕張メッセ国際展示場3ホール 名称:「ゆめみるチーバくん」ダンスキャラバン事業 対象:学校、施設、イベント等 内容:ダンスキャラバン隊を派遣し、ダンスの指導・普及活動を行う。	11,004	総合企画部 報道広報課

⑬ 「ちば文化」を担うひとづくりの推進

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
101	公立文化施設担当者研修会	県内の文化施設の設置者及び運営者に対し、文化施設の管理運営業務に関する情報提供を図る目的で、研修会を開催する。	1月23日に千葉県教育会館において施設の維持管理等をテーマにした講演を実施した。	-	- 秋に実施予定	-	環境生活部 県民生活・文化課
102	若者の文化芸術活動育成支援事業 (No.36再掲)	若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。	・補助金交付団体数:6団体	1,198	・申請団体への補助金交付 ・補助対象事業 40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象者 公益法人、文化芸術団体等 ・補助金 補助対象経費2/3以内 上限20万円	1,200	環境生活部 県民生活・文化課
103	表彰の実施	千葉県において文化の振興に関し特に功績の顕著であった個人又は団体の候補者を表彰する。	文化の日千葉県功労者表彰、千葉県教育功労者表彰の受賞候補者の推薦を行った。	-	・各賞の受賞候補者の推薦 (文化の日文化功労、千葉県教育功労者、地域文化功労者等)	-	環境生活部 県民生活・文化課

⑭ 文化のネットワークの構築

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
104	文化活動ボランティアネットワーク	文化情報ポータルサイト「ちば文化交流ボックス」内に「文化活動ボランティアネットワーク」のページを設け、文化活動ボランティアをしたい方とお願いしたい方の両者を結びつける手助けをする。	登録情報の更新を行った。 ・文化活動ボランティア登録数 37件 ・文化活動ボランティア依頼件数 125件	-	- 登録情報の更新作業 ・文化活動ボランティア登録数 40件 ・文化活動ボランティア依頼件数 120件	-	環境生活部 県民生活・文化課
105	千葉県芸術文化団体協議会	昭和45年に設立され、本県の文化芸術に係る県域・市町村団体を総括する唯一の団体。	・芸術文化フォーラム:平成31年2月23日 千葉県文化会館で開催 ・文化芸術功労表彰:加盟団体からの推薦により2名を表彰 ・芸文協だより:2回発行(H30年9月、H31年3月)	-	・芸術文化フォーラムの開催 ・文化芸術功労表彰 ・芸文協だよりを2回発行	-	環境生活部 県民生活・文化課
106	子どもの読書活動の推進 (No.40再掲)	「千葉県子どもの読書活動推進計画(第三次)」に基づき、乳幼児期からの読書活動を推進し、子どもが自主的に読書に親しむことができる環境の整備を進めていく。主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指し、リーフレットの作成・配付や「子ども読書の集い」の開催などの啓発活動を行う。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。	【平成30年度子どもの読書活動推進事業】 ・「千葉県子ども読書の集い」の実施。5月12日(土)開催。228名参加。 ・「公立図書館と学校の連携を図るための研修会」の実施。8月20日(月)開催。201名参加。 ・子どもの読書活動啓発リーフレット(改訂版)を作成。0歳児及び小学校1年生の保護者に配付。(乳幼児向け51,000部、小学生向け54,000部をそれぞれ作成)	682	・「千葉県子ども読書の集い」の実施。5月11日(土)開催。 ・「公立図書館と学校の連携を図るための研修会」の実施。8月26日(月)開催。 ・子どもの読書活動啓発リーフレットを作成。(乳幼児向け49,000部、小学生向け55,000部を作成し、それぞれ0歳児及び小学校1年生の保護者に配付)	820	教育庁 生涯学習課
107	千葉県無形民俗文化財連絡協議会 (No.67再掲)	国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。	佐倉市市民音楽ホールにおいて「房総の郷土芸能2018」を主催、949名の参加があった。 「坂戸の念仏」の記録映像の解説書と、会報の作成を実施した。	-	・令和2年1月26日に、香取市佐原文化会館において「房総の郷土芸能2019」を主催する予定。	-	教育庁 文化財課

⑮ 多様な支援体制の構築

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
108	千葉・県民芸術祭 (No.1再掲)	県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	県域文化団体行事(28件)及び中央行事の計29行事を実施。 中央行事来場者:1,354名 県域文化団体行事来場者:66,264名	6,050	・期間:6月29日~2月20日 ・32事業を開催(県域文化団体31行事及び中央行事)	4,050	環境生活部 県民生活・文化課
109	文化振興事業の後援	県民の文化芸術活動を支援するため、文化芸術活動に関する公演や展覧会等の行事に対して、県後援名義の使用承認を行う。	音楽・美術・伝統芸能・書道・舞踊・写真などの文化行事について、後援名義の使用承認を行った。 環境生活部環境生活部県民生活・文化課 122件、教育庁文化財課 42件	-	- 申請があった文化行事に対して、後援名義の使用承認を行う。	-	環境生活部 県民生活・文化課 教育庁 文化財課

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
110	ちば文化交流ボックス(No.3再掲)	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	・地域のイベント情報 79件 ・ホームページの閲覧件数 73万件	—	・地域のイベント情報 目標件数 90件 ・ホームページの閲覧目標件数 70万件	—	環境生活部 県民生活・文化課

⑯ 文化発信拠点としての文化施設等の機能の充実

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
111	県立文化会館自主事業、管理運営事業(No.2再掲)	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	各館の特色を生かして、公演・県民参加型ミュージカル・音楽ワークショップ・伝統文化体験等を様々な事業を実施した。会館利用者数880,781名利用件数4,970件	596,002	・各館の特色を生かして、公演・県民参加型ミュージカル・音楽ワークショップ・伝統文化体験等の様々な事業を実施	601,380	環境生活部 県民生活・文化課
112	文化事業(No.14再掲)	古文書講座・県史講座・歴史講演会、出前講座、常設展・企画展を開催する。	・古文書講座 平成30年10月4日～11月2日(3コース 各3日間) 参加者983名(のべ人数) ・企画展「明治150年記念 房総へいらっしやいー千葉の観光のあゆみー」平成30年9月25日～平成31年3月9日 入場者数4313名 ・常設展「史料から見るふるさと房総の歴史と文化」平成30年4月2日～平成30年9月8日、平成31年3月25日～平成31年3月30日 入場者数1,948名 ・歴史講演会「森川重俊自筆の手紙を読む」平成30年6月15日 参加者178名 ・県史講座「近代医療の夜明けー千葉県の西洋医とその周辺ー」平成30年2月8日・9日 参加者146名 ・出前講座 平成30年5月31日～平成31年3月13日(全40回) 参加者計1,266名	1,776	・古文書講座 令和元年10月 ※予定(3コース 各3日間) ・企画展 令和元年10月1日～令和2年1月18日「(仮称)改元期の千葉県ー近現代のあゆみの中でー」 ・国立公文書館所蔵資料展 令和2年2月5日～令和2年3月10日「(仮称)徳川家康」 ・常設展 平成31年4月1日～令和元年9月8日、令和2年年3月23日～3月30日 ※予定 ・歴史講演会 令和元年6月14日「御本丸御奥方御絵図を読むー千葉県にあった最古の江戸大奥図ー」 ・県史講座 令和2年2月19日、2月21日(2日間) ※予定 ・出前講座 令和元年6月～令和2年2月(全47回程度)※予定	1,807	文書館
113	さわやかちば県民プラザ事業(No.5再掲)	音楽ワークショップ、東葛飾文化祭、ザ・ワールドオブプラス、クリスマスコンサート、県民プラザコンサート、高校生バンドフェスティバル、ヤングパワームーブメント、書のパフォーマンス発表会、アゴラマンズリーコンサートなどを実施する。	●音楽ワークショップ ・年間15回のワークショップの開催(参加者のべ1,884名) ・晩秋のコンサート11月25日(日)実施(参観者1,972名) ・新春のコンサート1月20日(日)実施(参観者2,118名) ●東葛飾文化祭(6月2日(土)～17日(日)) 参観者:のべ16,570名、参加団体:東葛飾6市118団体 ●ザ・ワールドオブプラス(5月12日(土)) 参観者:24,992名、参加団体:東関東の小・中・高等学校24校 ●クリスマスコンサート(12月15日(土)) 参観者:4,966名、参加団体:県内小・中・高等学校・特別支援学校計21校 ●県民プラザコンサート(3月17日(日)) 参観者:824名、プラザ利用団体計5組参加 ●高校生バンドフェスティバル(12月23日(日)) 参観者:1,037名、参加団体:県内高等学校13団体 ●ヤングパワームーブメント 実行委員会10回(参加者数のべ61名)、実施報告会 12月1日(土)実施(参観者32名) ●書のパフォーマンス発表会9月30日(日)実施(10月2日～14日ギャラリー展示予定) 参観者327名、参加団体:県内高等学校6校 ●アゴラマンズリーコンサート(毎月第3日曜日、計12回開催) 参観者:のべ1,159名	760	●音楽ワークショップ ・年間15回のワークショップ開催 ・晩秋のコンサート11月17日(日) ・新春のコンサート1月19日(日) ●東葛飾文化祭:開催期間6月15日(土)～23日(日) ●ザ・ワールドオブプラス:5月11日(土) ●クリスマスコンサート:12月14日(土) ●県民プラザコンサート:事業廃止 ●高校生バンドフェスティバル:12月25日(水) ●ヤングパワームーブメント:年間9回程度 ●書のパフォーマンス発表会: 9月29日(日)(10月1日～6日ギャラリー展示予定) ●アゴラマンズリーコンサート:毎月第3日曜予定(年間12回)	708	教育庁 生涯学習課
114	県立図書館事業(No.28再掲)	①県民への情報提供、図書の貸出・返却及び資料管理を的確かつ迅速に行うため、電算処理による図書館情報システムを導入し、円滑な運用を図る。 ②県民の読書や調査研究活動の支援と市町村立図書館等への協力・援助のために、書籍の収集整備をする。 ③子どもへの本の読み聞かせや読書の重要性について一層の理解を深めてもらうため、読み聞かせのボランティア活動を行う方などを対象に、子どもの本の読み聞かせについての講座を開催するほか、特別支援学校を訪問して読み聞かせを実施する。 ④県民が身近な市町村立図書館等を通じて県立図書館及び他の市町村立図書館の資料が利用できるよう、県内公共図書館間に情報と物流のネットワークを構築して運用している。また、高等学校・特別支援学校には、資料搬送車や宅配便による資料の貸出しを行っている。	①図書館情報システムについて、機器やデジタルアーカイブ等の更新を行った。 ②市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に11,145冊を購入整備した。 ③読み聞かせボランティア入門講座を2回開催し、58人の参加があった。 ④県内図書館や県立学校等へ図書館ネットワークを通じて207千冊の貸出しを行った。	131,381	①電算処理による図書館情報システムを運用。(65,178千円) ②市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に収集整備。(52,000千円) ③読み聞かせのボランティア活動を行う方などを対象に、子どもの本の読み聞かせについての研修会や講座の開催や、特別支援学校を訪問して読み聞かせを実施。(228千円) ④県内公共図書館間に情報と物流のネットワークを構築。高等学校・特別支援学校には、資料搬送車や宅配便による資料の貸出しを実施。(18,782千円)	136,188	教育庁 生涯学習課

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
115	県立学校開放講座	県立学校が保有する優れた教育機能を地域に開放し、多様化、高度化及び専門化する県民の学習要求に応え、生涯学習の振興に資するとともに開かれた学校づくりを促進する。	16校17講座開講（書道、科学実験、パソコン、紙すきなど）	321	18校19講座開講予定（書道、科学実験、農業体験など）	484	教育庁 生涯学習課
116	県立学校施設開放事業	県立学校の文化施設や、学校開放を目的として建設された地域交流施設等の開放を行い、生涯学習関連団体等の活動支援を行う。	7校で実施(文化施設5校、交流施設2校)	1,969	7校で実施予定(文化施設5校、交流施設2校)	2,239	教育庁 生涯学習課
117	県立美術館・博物館事業(No.6再掲)	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	美術館・博物館の入場者数は、中央博物館特別展「恐竜ミュージアムinちば」、関宿城博物館企画展「文明開化の力」等が好評を得たが、中央博物館大多喜城分館の設備工事のため40日間の臨時休館があったため、前年度とほぼ同数の921,914名であった。	989,069	本県の歴史・文化・美術・自然に関する展示及び教育普及事業を実施予定。	1,027,400	教育庁 文化財課
118	千葉フィールドミュージアム事業	地域の自然や文化そのものを資料として考えた新たな博物館事業。	中央博物館、中央博物館分館海の博物館、中央博物館大根分館・関宿城博物館において、それぞれ山、海、川をテーマとした観察会、見学会、生物調査等の80件を実施した。	5,912	77件の事業を実施予定。	6,133	教育庁 文化財課

⑰ 新しい文化と古くからの文化が織りなす「ちば文化」の世界への発信

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
119	文化プログラム関連イベント事業	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。	○「千葉・県民音楽祭」 楽器演奏者及び県内障害者団体・合唱団体が千葉交響楽団と共演するコンサートイベントを平成31年3月2日に開催し、1,358名の来場があった。 (楽器演奏者及び障害者団体は一般公募を実施) 楽器演奏者一般公募:8月17日～9月18日、応募者88名、35名選定 障害者団体一般公募:10月1日～11月26日、応募団体3、2団体選定 ○「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」 県民投票の結果等を踏まえ、8月に111件を「ちば文化資産」として選定した。その後、「ちば文化資産」を紹介するガイドブック(日本語版及び英語版)及び周遊ルート(1コース)の作成を行った。 また、「ちばアート祭2019」として、「ちば文化資産」をテーマとした絵画・写真作品を募集した(締切:5月31日(金))	22,774	○「千葉・県民音楽祭」 平成31年度は一般公募制の「合唱ステージ」、平成32年度はさらに同じく一般公募制の「ダンスステージ」を加えることで、年々その内容を充実させ、総合芸術ステージとして「千葉文化」を発信していく。 ○「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』PR事業」 「ちば文化資産」に選定された資産を巡るスタンプラリーを年2回(8月、2月)実施する。 また、PRのための動画及び周遊ルートの作成を行う。 ○「ちばアート祭2019」 「ちばアート祭」を会場や作品のテーマとして活用し、多様な人が参加・体験できるイベントを実施する。 開催場所:ちば県立美術館及び千葉ポートパーク(円形広場) 開催期間:8月14日(水)～25日(日) 開催概要:絵画・写真公募展、ワークショップ、デジタルアート作品の展示	42,000	環境生活部 県民生活・文化課
	文化プログラムの申請	東京2020大会の機運醸成や関係機関等との新たな関係性の構築、「ちば文化」の発信等を図るため、組織委員会が行う「東京2020公認プログラム(文化プログラム)」等への申請や当該プログラムの周知を行う。	・H30実施の県主催の東京2020公認文化オリンピック 14件 ・関係機関への周知(ホームページ作成、各種会議での説明等)		・H31.3.31現在、H31実施の県主催事業の5事業について公認プログラムの認証を得ており、引き続き対象となる事業について認証を得ていく。 ・県関係部局・市町村等へ文化プログラムの周知を行う。		
	beyond2020プログラムの申請	国と東京都が一体となって推進する文化プログラムであるbeyond2020プログラムについて、関係機関等へ周知し、様々な団体が実施する文化事業が認定を受けることで、本県での多様な文化芸術活動の展開を促進する。	・県内認証件数 127件(内、県認証104件) ・H30.3に新規チラシを作成		・申請があった文化事業に対して、認証を行う。 ・認証件数の増加を図るため、効果的な周知方法等の検討を行う。		

⑱ 障害者、高齢者、青少年、外国人等、国内外のあらゆる人々が参加・交流できる機会の創出

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
120	県民の日事業(No.98再掲)	県民が千葉の魅力を見直し、郷土愛を育み、千葉アイデンティティを醸成する機会とするため、「県民の日」を記念する行事を県内各地で実施する。また、県民の日中央行事として、幅広い世代の県民が楽しめる参加・体験型のイベントを実施する。	・中央行事:6月10日に幕張メッセで「県民の日ちばワクワクフェスタ2018」を開催。来場者数約13,000人。 ・地域行事:11件実施 ・賛同行事:302件実施	58,699	・中央行事 6月16日に幕張メッセで「県民の日ちばワクワクフェスタ2019」を開催。来場者数約14,500人。 ・地域行事 11件実施 ・賛同行事 321件実施(市町村や民間企業等を対象に、平成31年2月から令和元年5月まで募集)	64,000	環境生活部 県民生活・文化課

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
121	千葉・県民芸術祭 (No.1再掲)	県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	県域文化団体行事(28件)及び中央行事の計29行事を実施。 中央行事来場者:1,354名 県域文化団体行事来場者:66,264名	6,050	・期間:6月29日～2月20日 ・32事業を開催(県域文化団体31行事及び中央行事)	4,050	環境生活部 県民生活・文化課
122	若者の文化芸術活動育成支援事業 (No.36再掲)	若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。	・補助金交付団体数:6団体	1,198	・申請団体への補助金交付 ・補助対象事業 40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象者 公益法人、文化芸術団体等 ・補助金 補助対象経費2/3以内 上限20万円	1,200	環境生活部 県民生活・文化課
123	文化プログラム関連イベント事業 (No.119再掲)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。	○「千葉・県民音楽祭」 楽器演奏者及び県内障害者団体・合唱団体が千葉交響楽団と共演するコンサートイベントを平成31年3月2日に開催し、1,358名の来場があった。 (楽器演奏者及び障害者団体は一般公募を実施) 楽器演奏者一般公募:8月17日～9月18日、応募者88名、35名選定 障害者団体一般公募:10月1日～11月26日、応募団体3、2団体選定 ○「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』選定・PR事業」 県民投票の結果等を踏まえ、8月に111件を「ちば文化資産」として選定した。その後、「ちば文化資産」を紹介するガイドブック(日本語版及び英語版)及び周遊ルート(1コース)の作成を行った。 また、「ちばアート祭2019」に向けて、「ちば文化資産」をテーマとした絵画・写真作品を募集した(締切:5月31日(金))	22,774	○「千葉・県民音楽祭」 平成31年度は一般公募制の「合唱ステージ」、平成32年度はさらに同じく一般公募制の「ダンスステージ」を加えることで、年々その内容を充実させ、総合芸術ステージとして「千葉文化」を発信していく。 ○「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』PR事業」 「ちば文化資産」に選定された資産を巡るスタンプラリーを年2回(8月、2月)実施する。 また、PRのための動画及び周遊ルートの作成を行う。 ○「ちばアート祭2019」 「ちばアート祭」を会場や作品のテーマとして活用し、多様な人が参加・体験できるイベントを実施する。 開催場所:ちば県立美術館及び千葉ポートパーク(円形広場) 開催期間:8月14日(水)～25日(日) 開催概要:絵画・写真公募展、ワークショップ、デジタルアート作品の展示	42,000	環境生活部 県民生活・文化課
	文化プログラムの申請 (No.119再掲)	東京2020大会の機運醸成や関係機関等との新たな関係性の構築、「ちば文化」の発信等を図るため、組織委員会が行う「東京2020公認プログラム(文化プログラム)」等への申請や当該プログラムの周知を行う。	・H30実施の県主催の東京2020公認文化オリンピックアード 14件 ・関係機関への周知(ホームページ作成、各種会議での説明等)		・H31.3.31現在、H31実施の県主催事業の5事業について公認プログラムの認証を得ており、引き続き対象となる事業について認証を得ていく。 ・県関係部局・市町村等へ文化プログラムの周知を行う。		
	beyond2020プログラムの申請 (No.119再掲)	国と東京都が一体となって推進する文化プログラムであるbeyond2020プログラムについて、関係機関等へ周知し、様々な団体が実施する文化事業が認定を受けることで、本県での多様な文化芸術活動の展開を促進する。	・県内認証件数 127件(内、県認証104件) ・H30.3に新規チラシを作成		・申請があった文化事業に対して、認証を行う。 ・認証件数の増加を図るため、効果的な周知方法等の検討を行う。		
124	文化施設における多言語表記、無料公衆無線LANの整備	文化施設における多言語表記、無料公衆無線LANの整備を進め、「ちば文化」の魅力を発信する。	房総のむら全館において公衆無線LANの運用を行うとともに、中央博物館大多喜城分館、関宿城博物館において外国語ホームページの充実を図った。	2,282	先行して実施した館の外国語ホームページ・多言語表記等の運用実績を踏まえ、他館への整備について検討。	—	教育庁 文化財課

⑩ 観光等様々な分野との連携による文化資源の活用

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
125	文化プログラム関連イベント事業 (No.119から抜粋)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。	○「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」 県民投票の結果等を踏まえ、8月に111件を「ちば文化資産」として選定した。その後、「ちば文化資産」を紹介するガイドブック(日本語版及び英語版)及び周遊ルート(1コース)の作成を行った。 また、「ちばアート祭2019」として、「ちば文化資産」をテーマとした絵画・写真作品を募集した(締切:5月31日(金))	6,757	○「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』PR事業」 「ちば文化資産」に選定された資産を巡るスタンプラリーを年2回(8月、2月)実施する。 また、PRのための動画及び周遊ルートの作成を行う。 ○「ちばアート祭2019」 「ちばアート祭」を会場や作品のテーマとして活用し、多様な人が参加・体験できるイベントを実施する。 開催場所:ちば県立美術館及び千葉ポートパーク(円形広場) 開催期間:8月14日(水)～25日(日) 開催概要:絵画・写真公募展、ワークショップ、デジタルアート作品の展示	26,472	環境生活部 県民生活・文化課

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	
126	千葉県フィルムコミッション運営事業	映画等のロケーション誘致による地域知名度の向上や観光客の誘致、直接的な経済効果を目的に、以下の取組を行う。 (1)映像関係者に対する相談業務及び撮影支援 (2)市町村との連携強化及び市町村FCの設立の促進、ロケーション撮影の受入体制強化 (3)ロケ地を巡る旅であるフィルムツーリズムの促進、ロケ地と近隣の観光スポットを絡めた情報発信等 (4)映画、テレビ番組の誘致のための補助金に係る広報、申請受付、ロケ同行等	映像制作関係者への撮影支援・ホームページ等による広報活動などの業務を、千葉県フィルムコミッション(H14年度設立。ちば国際コンベンションビュロー内。)に委託して実施した。 ホームページには文化資源の情報を掲載し、ロケーション誘致の促進を図った。	25,999	映像制作関係者への撮影支援・ホームページ等による広報活動などの業務を、千葉県フィルムコミッションに委託して実施する。	26,300	商工労働部 観光誘致促進課
127	観光イベントブック「ちばnote」作成事業	本県の旬の観光・レジャー情報を掲載し、県民等向けに観光情報を広くPRしている。	2か月に1回(年6回)、千葉県の旬の観光・レジャー情報が掲載された「ちばのnote」を県民等向けに発行した。季節に応じた旬の特集やイベント、祭事等の文化資源等を掲載し広報を行った。	6,480	2か月に1回(年6回)、千葉県の旬の観光・レジャー情報が掲載された「ちばnote」を県民等向けに発行する。季節に応じた旬の特集や、夏・秋・早春の観光キャンペーンの情報も適宜掲載を検討する。 ※配布先: 鉄道駅、道の駅、宿泊施設、地方銀行、県立博物館・美術館等	9,940	商工労働部 観光誘致促進課
128	「グリーン・ブルーツーリズムinちば」推進事業	都市と農山漁村の交流を促進し、地域が一体となった農山漁村の活性化を図る。	<直売所フェア2018の開催> ・期間:平成30年10月20日(土)から12月2日(日) ・参加店舗数:126店舗 ・内容:スタンプラリーの実施、首都圏の消費者を対象としたPR活動の実施、郷土料理や地域ならではの農林水産物加工品等のPRの実施 <農林水産物直売所の生産者や農林漁業体験施設の関係者等を対象とした研修会> 農林水産物直売所の生産者等を対象とした研修会を各地域で実施。 (都市農業振興研修会、インバウンドセミナー、食品表示研修会等)	7,577	<直売所フェア2019の開催> ・期間:令和元年11月1日～12月1日(予定) ・内容:スタンプラリー等(予定) <農林水産物直売所の生産者や農林漁業体験施設の関係者等を対象とした研修会> ・地域の実情に合わせて実施。	7,674	農林水産部 流通販売課
129	食のおもてなし力向上事業 (No.57再掲)	2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、国内外からの観光客のさらなる増加が見込まれる中、食に関しての魅力ある観光地づくりとおもてなし力の向上を図るため、本県ならではの食の魅力として「郷土料理」に着目し、観光客が本県の誇る郷土料理を知り、味わえる環境づくりを進める。	<農林水産物直売所等おもてなし力向上事業> ・県内5エリアで農林水産物直売所、農林漁家レストラン、農林漁業体験施設の各施設を対象に開催。 ・期間:平成30年10～12月 ・参加者:47名 ・内容:おもてなしトイレセミナー、商品デザイン講座、ご当地野菜のレシピ開発講座 <ちばの郷土料理再発見事業> ・郷土料理に関する取組をしている団体・個人や有識者等から意見を聴取する協議会を設置し、6区分に分け、県産食材を活用し、千葉県ならではのストーリー性がある料理を20品選定。 ・郷土料理啓発パンフレットの作成、配布(20,000部作成、各県内施設へ配布) ・県内飲食店・宿泊施設の料理人向け「ちばの郷土料理」研修会を2回実施 期間:平成30年12月3日、平成30年12月10日 参加者:28名 内容:座学及び郷土料理実演 ・郷土料理を取り扱う店舗を広くPRするため、「ちば直売所フェア」を活用した「郷土料理フェア」を開催	6,923	<ちばの郷土料理再発見事業> ・、県内の郷土料理の中から普及対象料理を新たに選定するため、郷土料理(食文化)関係者や有識者が参画する協議会を開催し、ちばの郷土料理に係る区分を設定する ・県内のホテルや飲食店でのメニュー化を推進するため、郷土料理を提供する施設を広くPRする「ちばの郷土料理フェア(仮称)」を開催 ・ちばの郷土料理の国内外へのPRのため、郷土料理パンフレットを作成、配布	5,500	農林水産部 流通販売課
130	「千葉の海」丸ごと満喫事業	都市と漁村の交流促進、水産物の消費拡大による漁村の活性化を図るため、観光キャンペーンと連携した水産物直売所のPR等を展開する。	県内の水産物直売所等を紹介する「新鮮!ちばの海の幸!水産物直売所マップ」(NEXCO版5万5千部、JR版6万5千部)を作成し、水産物直売所、道の駅、JRの首都圏主要駅、高速パーキング等で配布を行った。	2,840	・配布開始時期 令和元年7月頃 ・パンフレット(A4縦半変型) ・作成部数 12万部(NEXCO版5万5千部、JR版6万5千部) ・配布先 JR主要駅、高速道路SA・PA、水産物直売所、道の駅等	3,900	農林水産部 水産課
131	日本遺産魅力発信推進事業 (No.86再掲)	日本遺産に認定されたストーリーを地域全体として一体的に整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。今年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や人材育成などの事業を行う。	【情報発信・人材育成事業】 ・インバウンドPR広告事業として、SNS等を利用したPR広告を実施。既存動画を再編集してFacebookやWEIBOで配信、Facebook上でクイズイベントやコメント投稿イベントを実施した。 【普及啓発事業】 ・人材発掘事業として、地元住民や企業等が参加するワークショップ「ワールドカフェ」を香取市と銚子市で開催した。 ・観光ガイド養成事業として、観光ガイドマニュアルを活用し、地元観光ガイドに対する現地研修を実施した。 ・体験プログラム調査・造成等事業として、既存の体験プログラムを調査し、モニターツアーを実施した上でツアーの造成を行った。 【調査研究事業】 携帯電話契約者の移動情報を利用して、訪問先・時期・嗜好性等のデータを採取し、分析・報告を行った。	-	・国・県・市等によるイベントへの参加・出展を行なう。 ・デジタルマップやホームページの更新により、最新の情報を発信する。 ・成田空港会社や成田空港活用協議会と連携し、PRを行なう。	-	教育庁 文化財課

⑳ 文化プログラム関連イベントの実施により得られた資源の活用

No.	事業名	事業概要	平成30年度		令和元年度		担当部署名	
			実施結果及び成果	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)		
132	ネットワークの構築	文化プログラムの実施を通じて新たに結ばれる団体と施設とのネットワークを、その後の事業展開に活かす。	[ちば文化(芸術)振興懇談会]を3回開催し、委員の意見をふまえ、県内の文化団体や文化施設への文化プログラムの周知により、事業実施を促進した。		-	・選定された『ちば文化資産』を、県庁内や市町村、文化芸術団体等と連携して地域活性等に活用していく。	-	環境生活部 県民生活・文化課
133	ちば文化交流ボックス(No.3再掲)	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	・地域のイベント情報 79件 ・ホームページの閲覧件数 73万件		-	・地域のイベント情報 目標件数 90件 ・ホームページの閲覧目標件数 70万件	-	環境生活部 県民生活・文化課
134	文化プログラム関連イベント事業(No.119から抜粋)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。	○「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」 県民投票の結果等を踏まえ、8月に111件を「ちば文化資産」として選定した。その後、「ちば文化資産」を紹介するガイドブック(日本語版及び英語版)及び周遊ルート(1コース)の作成を行った。 また、「ちばアート祭2019」として、「ちば文化資産」をテーマとした絵画・写真作品を募集した(締切:5月31日(金))	6,757	○「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』PR事業」 「ちば文化資産」に選定された資産を巡るスタンプラリーを年2回(8月、2月)実施する。 また、PRのための動画及び周遊ルートの作成を行う。 ○「ちばアート祭2019」 「ちばアート祭」を会場や作品のテーマとして活用し、多様な人が参加・体験できるイベントを実施する。 開催場所:ちば県立美術館及び千葉ポートパーク(円形広場) 開催期間:8月14日(水)～25日(日) 開催概要:絵画・写真公募展、ワークショップ、デジタルアート作品の展示	26,472		環境生活部 県民生活・文化課